

中学校学校選択制度に関するアンケート（教員向け）

アンケート実施期間：7月25日～9月15日

問1および問2

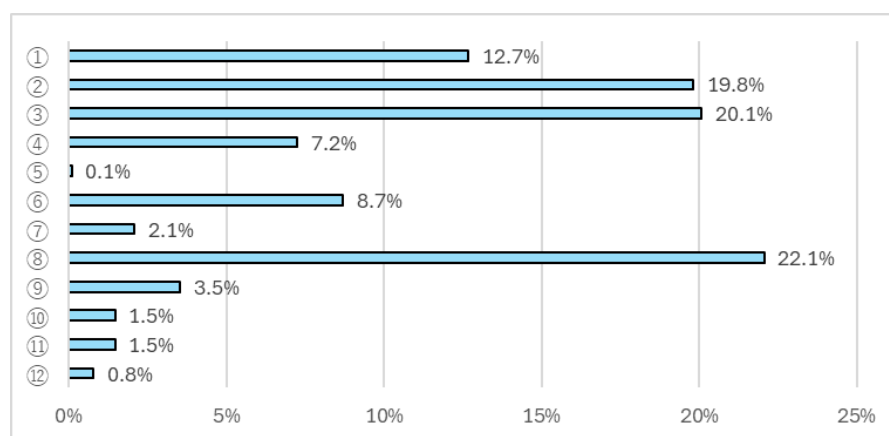
1 学年の学級数と、職名を教えてください。

学級数	校長	副校長	主幹教諭	主任教諭	教諭	合計
1～2学級	1	3	5	13	18	40
3～4学級	9	14	31	73	79	206
5～6学級	8	7	20	54	78	167
合計	18	24	56	140	175	413

問3

生徒・保護者はどのような理由で学校を選んでいると思いますか。（複数選択可）

① 兄弟親族等の在籍校や卒業校	147	12.7%	⑦ 教職員の様子	24	2.1%
② 友人関係	230	19.8%	⑧ 部活動の有無や活動状況	256	22.1%
③ 学校の近さや通学のしやすさ	233	20.1%	⑨ 学校の施設・設備	41	3.5%
④ 学校の校風や様子、教育方針	84	7.2%	⑩ 学力や卒業生の進路状況	17	1.5%
⑤ 標準服のデザイン	1	0.1%	⑪ 学校規模（生徒数・学級数）	17	1.5%
⑥ 生徒の様子	101	8.7%	⑫ その他	9	0.8%



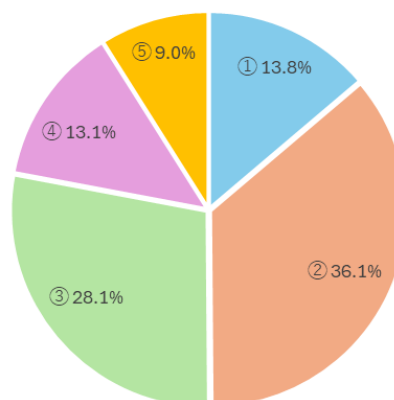
【その他の回答】

- 保護者間での噂など
- PTA がないこと
- 通級指導学級の有無
- 私服の学校であること
- 小学校時代の不登校や友人の関係など、学校生活の環境変化を望んで選択している

問 4

学校選択制度は魅力ある学校づくりの推進に繋がっていると思いますか。

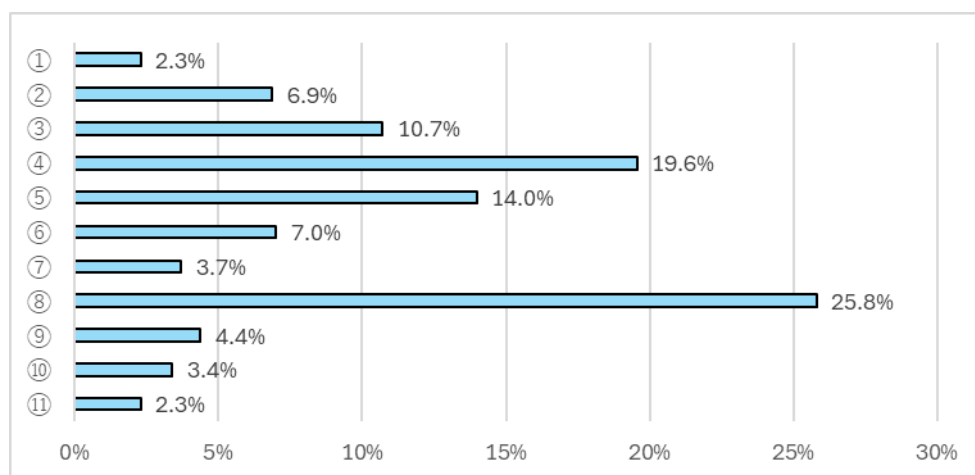
① 思う	57	13.8%
② どちらかといえば思う	149	36.1%
③ どちらともいえない	116	28.1%
④ どちらかといえば思わない	54	13.1%
⑤ 思わない	37	9.0%



問 5

通学区域外から通う生徒が増えたことで、生活指導面に関する影響はありましたか。

① 自覚が高まり、生活指導上の問題が減った	21	2.3%	⑦ トラブル等の際、簡単に転校できると考える生徒・保護者が増えた	34	3.7%
② 家庭との連携がとりにくくなった	63	6.9%	⑧ 再登校に対応させにくくなった	236	25.8%
③ 小学校との連携がとりにくくなった	98	10.7%	⑨ 特に影響はない	40	4.4%
④ 登下校中の安全への不安が増えた	179	19.6%	⑩ わからない	31	3.4%
⑤ 遅刻等、生活指導面の課題が増えた	128	14.0%	⑪ その他	21	2.3%
⑥ 他校生徒が関わる生活指導面での課題が増えた	64	7.0%			



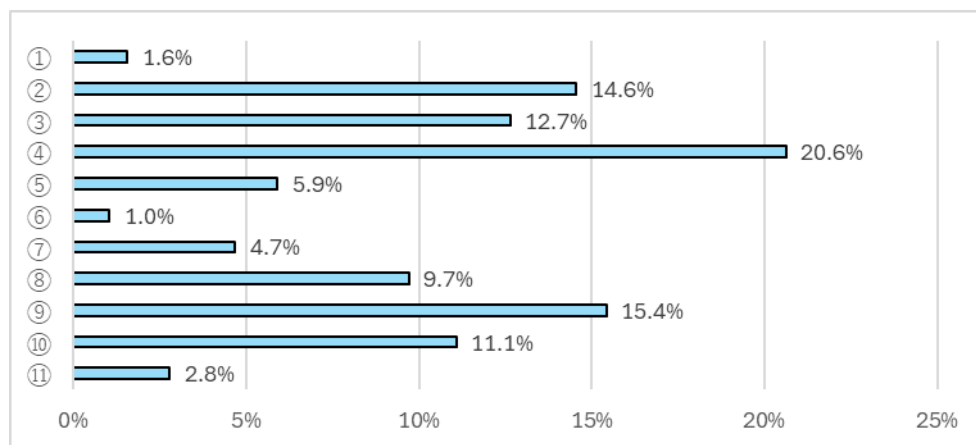
【その他の回答】

- スマートフォン持ち込みに関する要望が増えた。定期券・スマートフォンなど預かる物が増えた。
- 学区外通学者は生活指導上の問題を抱えていることが多い。問題を起こしやすい。
- 不登校生徒の対応、別室登校者の対応が増えた。
- 学区外通学者により、小学校で構築された人間関係のバランスが崩れた。クラス分けの配慮に苦難。

問 6

通学区域外から通う生徒が増えたことで、教育活動面に関する影響はありましたか。

① 学校行事が活性化した	9	1.6%	⑦ 部活動に支障が出た	27	4.7%
② 部活動が活性化した	84	14.6%	⑧ 学校施設が手狭になった	56	9.7%
③ 生徒の人間関係が広がった	73	12.7%	⑨ 特に影響はない	89	15.4%
④ 生徒数・学級数の幅が大きくなった	119	20.6%	⑩ わからない	64	11.1%
⑤ 男女比のバランスが悪くなった	34	5.9%	⑪ その他	16	2.8%
⑥ 学校行事に活気がなくなった	6	1.0%			



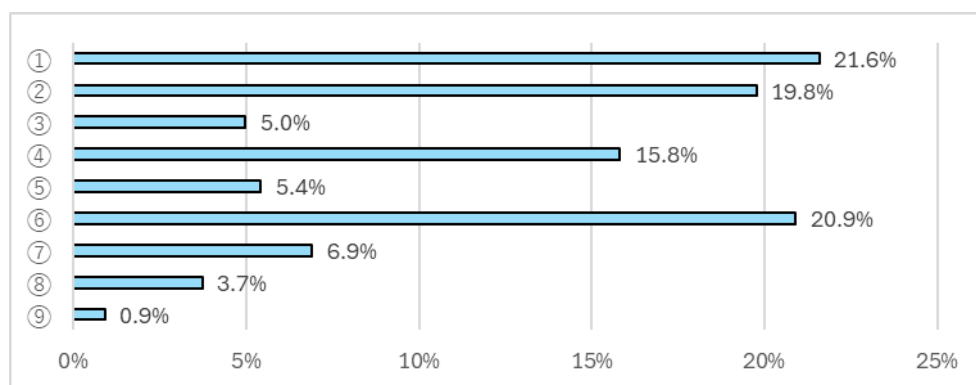
【その他の回答】

- 校外学習の集合解散場所の配慮が必要。配慮事項が増えて教員の負担が増加した。
- 遠方から通う子への配慮や、体調不良の際の対応への配慮が必要となった。
- 周期的に生徒の偏りを感じる。
- 災害時の対応が複雑化した（帰宅訓練で配慮が必要）。
- 学校説明会や部活動説明会のチラシをどこまで配布すれば良いか、中学校間で摩擦が出る。

問 7

学校選択制度に関する意見として、考えに近いものはどれですか。（複数選択可）

① 噂や風評等で学校を選択している	191	21.6%	⑥ 学校間の生徒数差が広がる	185	20.9%
② 通学の安全確保に不安が生じる	175	19.8%	⑦ 制度導入の目的達成が出来ない	61	6.9%
③ 自宅が遠くなり、保護者の行事参加が出来ない	44	5.0%	⑧ 特に問題はない	33	3.7%
④ 落選者が消極的な気持ちで入学する	140	15.8%	⑨ その他	8	0.9%
⑤ 指定校変更希望者への対応が遅くなる	48	5.4%			



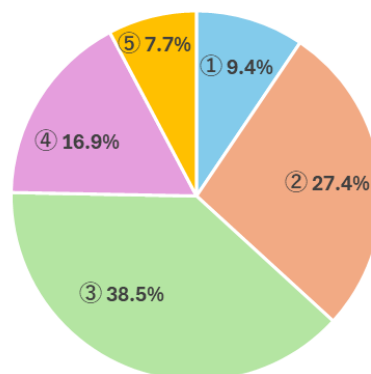
【その他の回答】

- 小中一貫教育の考え方と連動していない。
- 生徒数の確定判断が遅いと感じる。
- 教室の確保（個別に話を聞く部屋など特殊な部屋）が難しいと感じる。
- 公立校の教育で特色差「良い学校」「魅力のない学校」と優劣が付くような状況は良くない。

問 8

学校選択制度継続についてどう思いますか。

① 継続	39	9.4%
② どちらかといえば継続	113	27.4%
③ どちらでもよい	159	38.5%
④ そちらかといえば継続しない	70	16.9%
⑤ 継続しない	32	7.7%



問 9

学校選択制度へご意見

【肯定的内容】

- 子供にとって選択肢があるのは良いこと。
- 学校の魅力向上への取り組みをすることは良いこと。
- 小学校で躓いた子がリスタートできた事例を経験した。環境を変える面ではメリットがある。
- 本人が希望した学校なので、やる気向上や、自覚の芽生え等の面で有益と考える。
- 教員意識の向上に繋がる。公立校も私立のような経営努力が必要な時代と考える。

【否定的な意見】

- 明確な理由がある場合のみ受け入れれば良い。そうでなければ、学区域への進学で十分。
- 生徒数、学級数の増減が激しい。必要教室の確保が難しく、授業がやりにくい。教育環境の提供に影響が出る。
- 遠距離登校に不安を感じる（酷暑下の登校・再登校が必要な場合の対応・災害時の対応）。
- 学区外通学の特別対応としてスマートフォンを持たせたがる親が増加した。
- 地域と子供の繋がりが薄くなっていると感じる。
- 公立校が独自の魅力や特色を打ち出す必要はない。校長が変われば方針も変わる。校長・教員の努力だけでは変えようがない。
- 指定校変更・区域外就学で対応できるなら、制度は不要。
- 学校間格差が開くばかり。希望を分散させる対策が必要。
- 選択させるのであれば、それに見合った校舎の準備がまずは必要。
- リスタートの聞こえは良いが、上手くいっていない生徒も多い。小中の連携がしにくい。
- 制度に関する各家庭の認識にズレが生じ始めている。本来の目的を達成できるような周知が必要。
- 魅力づくりに繋がる制度ではない。特色ある教育活動、魅力づくりを推奨するなら、区として人員・予算の拡充をしてほしい。

【その他の意見】

- 小中連携教育や、その他施策との関連性を持たせてほしい。
- 学校は魅力や教員努力ではなく、部活や学校施設、立地で選ばれている印象が強い。
- 統廃合を進めるなら小学校も自由選択にすべき。
- 入学者数の決定時期が遅い。
- 学校選択にあたり保護者から教育方針・校則を理解した旨、一筆を取るのはいかがでしょうか。
- 特色のある学校の具体例を挙げてほしい。何でもやるような状況になっては困る。
- 保護者がお客さん感覚。教育指導とサービス提供を混同している。